

J C I 混和材料委員会  
第 2 回全体委員会議事録

日 時：2008年9月25日(木)13:00~17:00

場 所：J C I (半蔵門)

出席者：名和豊春，山田一夫，久田 真，閑田徹志，石川嘉崇，檀 康弘，竹田宣典，今本啓一，浅本晋吾，井上和政，半井健一郎，佐伯竜彦，兼松 学，蔵重 勲，野々目 洋，陣内 浩，臼井達哉，福留和人，廣島明男，小田部裕一，中山英明，船本憲治

議 事：

1．前回の議事確認

- ・7月10日(木)博多にて開催された全体委員会の議事録を確認した。

2．各WGの活動方針

- ・各WG主査から活動方針が紹介された。WG1はひび割れ抵抗性，WG2(山田主査)は水和反応，WG3(久田主査)は養生をメインのキーワードとして検討を行う。WG4(石川主査)はアンケート実施へ向けて質問内容を精査する。
- ・それぞれWGを開催し，検討を進めて欲しい。

3．名和委員長からの話題提供

- ・高炉スラグ微粉末の品質による反応性の違いについて，話題提供がなされた。
- ・材料が有するフルパフォーマンスでの評価とともに，実用された場面(例えば低温時)を想定した評価も必要。
- ・現在，土木学会，建築学会などで検討されている内容を十分に把握しておく。

4．共通試験の実施について

- ・混和材を用いたコンクリートのひび割れ抵抗性に関して，J C I 法で共通実験を実施する。実験は1水準あたりおおよそ10万円程度。参加希望者は，検討する実験要因を持ち寄り，11月20日(木)15時からの共通試験打ち合わせに参加して欲しい。
- ・大学関係者で科研に申請可能な委員は，ひび割れ試験の外部資金を獲得するために積極的に申請していただきたい。
- ・その他，外部からの試験費用獲得の情報があれば持ち寄る。

5．次回開催日

- ・2008年12月25日(木)13:00から